

平成27年度一般会計当初予算のポイント

人々がいきいきと暮らし続けるまちづくり13か月予算

～総合計画に掲げる将来都市像の実現に向けた第一歩～

469億2,500万円 (前年度比 Δ32億4,200万円、Δ6.5%)

当初予算額 **455億500万円**
(前年度比 Δ46億6,200万円、Δ9.3%)

【減の主な要因】小中学校の跡地を活用した緊急内水対策事業や新保裏館線道路改築事業等の投資的経費、景気の回復に伴う制度融資等に係る貸付金の減 (前年度比 Δ約51億3,000万円)

【ポイント①】

このまちの基礎体力を向上させる

教育・子育て政策の更なる展開	32.9億円	○子育て拠点施設の拡充
「ものづくりのまち」の更なる深化	49.4億円	○コト・ミチ人材の活用
健幸都市への更なる挑戦	2.8億円	○まちなか交流広場の開設
安心・安全な暮らしへの更なる追求	17.7億円	○緊急内水対策
全ての人々の尊厳の確保	0.4億円	○障がい者居住支援拠点施設の建設 (ほか)

【ポイント②】

人を去らせず、来たる人を追い求め、歓迎する

若年層の転出抑制	0.1億円
若年層の転入促進	4.5億円
自然動態改善への挑戦	28.1億円

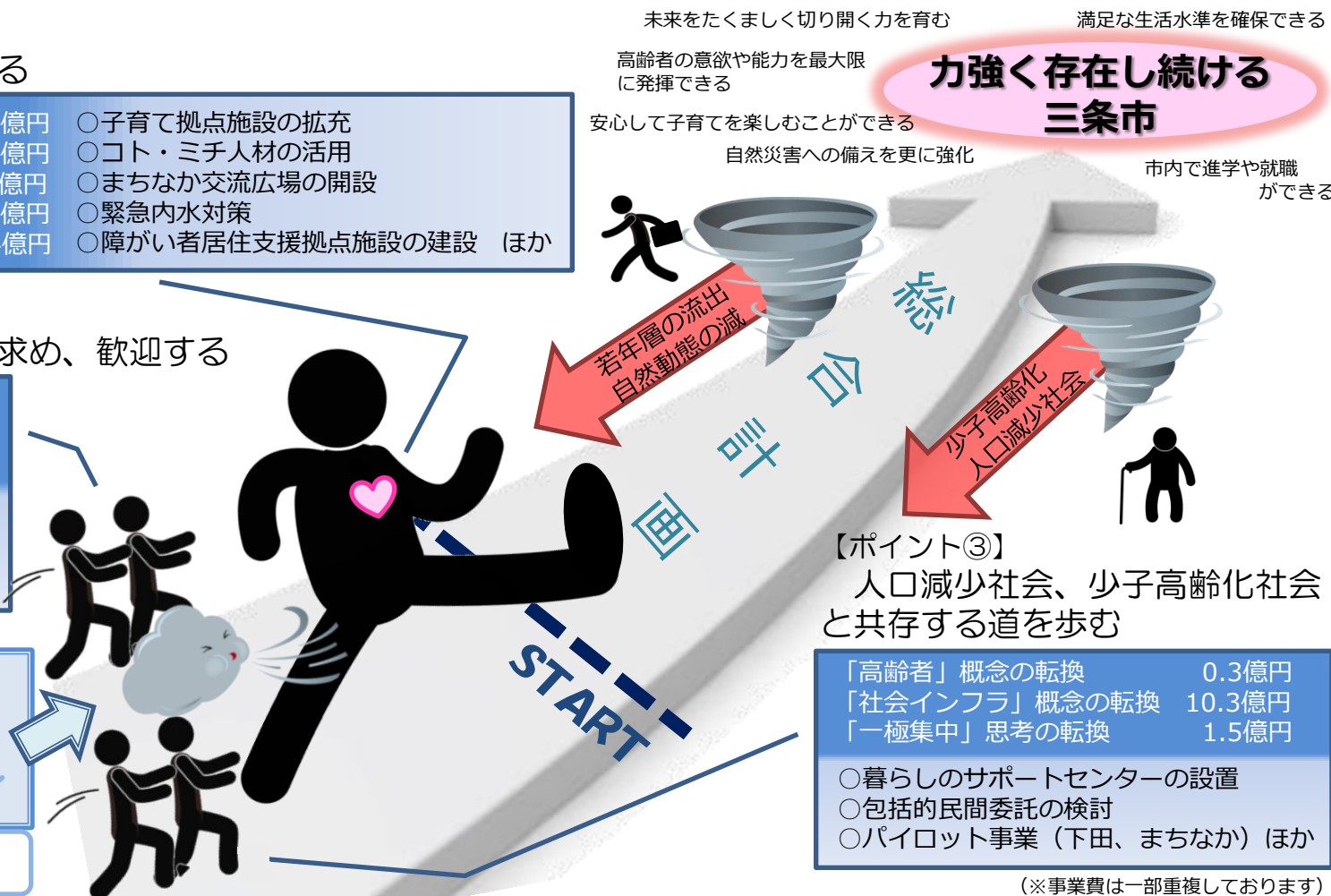
○総合的看護学校、ものづくり大学の検討
○移住に向けたシティセールス
○未婚化対策及び晩婚化対策 (ほか)

平成26年度補正

国の緊急経済対策事業等

14億2,000万円

地方創生先行型交付金、消費喚起・生活支援型交付金がものづくりのまち三条を力強く後押し



【ポイント③】
人口減少社会、少子高齢化社会と共存する道を歩む

「高齢者」概念の転換	0.3億円
「社会インフラ」概念の転換	10.3億円
「一極集中」思考の転換	1.5億円

○暮らしのサポートセンターの設置
○包括的民間委託の検討
○パイロット事業 (下田、まちなか) (ほか)

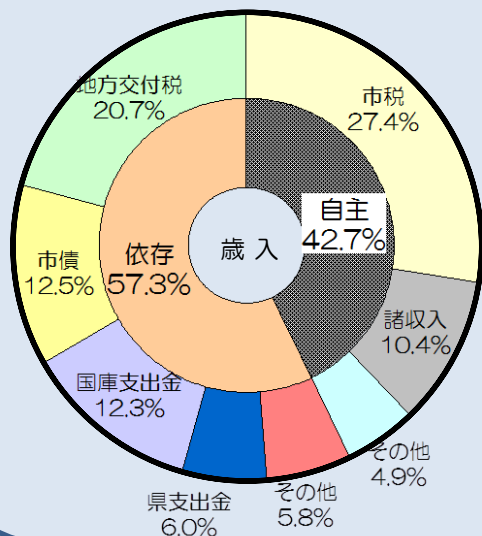
(※事業費は一部重複しております)

財政指標と「13か月予算」の予算構成比

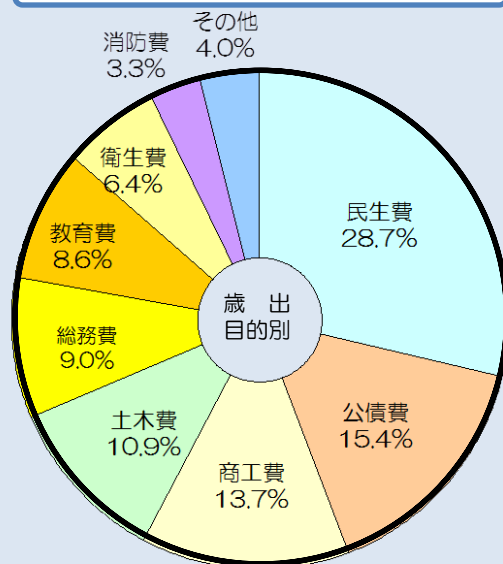
財 政 指 標

	H23	H24	H25	H26(見込)	H27(見込)	計画期間目標 (H27)
経常収支比率	93.1%	92.0%	93.1%	94.3%	▲ 94.6%	94.0%以内
実質公債費比率	14.6%	14.2%	14.4%	14.3%	▲ 14.7%	14.5%以内
財政調整基金残高 (退職手当基金を含む)	30.7億円	63.8億円	71.2億円	65.0億円	▼ 55.8億円	45.0億円以上

歳入予算構成比



歳出予算構成比（目的別）



歳出予算構成比（性質別）

